

令和元年度 事業報告書

令和元年5月26日（日）午後1時半より日本陶道会会議室に於いて第8回定時社員総会を開催した。まず川口理事総務部長より平成30年度事業報告、次いで、徳永常務理事経理部長及び本会専任の深山公認会計士より、貸借対照表、同内訳表、正味財産増減計算書、同内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録等について報告があり、引続き令和元年度の収支予算書及び2年度暫定予算書についての説明があった。その後、平成30年度の収支及び財産の状況並びに業務執行状況について健全に運営されている旨の監査報告が中村・高橋の両監事よりなされ、引き続き、早房理事長及び川口理事総務部長より、令和元年度事業計画書について説明があり、最後に徳永常務理事事務局長によって「理事補充」についての説明がなされ、審議の結果、いずれの議案も満場一致で承認された。

【理事会】

定例理事会は、平成31年4月、令和元年5月、6月、10月の各月の午後1時より合計4回開催した。

主な議案及び可決事項は次の通り。

- (1) 新旧代表理事交代（退任と選任）について
- (2) 定款変更について（役員の設定）
- (3) 第8回定時社員総会についての実施要領、議案、会員への通知要領について
- (4) 平成30年度事業報告書、同収支計算書及び決算見込みについて
- (5) 令和元年度事業計画書、同収支予算書について
- (6) 賛助会員規程の一部改訂について
- (7) 役員の定年制について
- (8) 会長会の開催と議題について
- (9) 彰徳祭の実施と会員表彰について
- (10) 本部淘席について

【令和元年度に実施した本部主催行事】

- (1) 第8回定時社員総会を令和元年5月26日（日）に開催した。
- (2) 定例理事会を4回 4月、5月、6月、10月に開催した。
- (4) 理事懇談会を1回 12月に開催した。
- (5) 総務会を6回 5月、7月、9月、11月、令和2年2月、3月に開催した。
(その内、9月、11月、2月、3月は、ネット会議)
- (6) 推進委員会を10月27日と11月23日（部長・推進委員合同会議）に開催した。
- (7) 会員表彰 10月4日に名誉会員表彰を実施した。

(8) 紅葉狩り淘席（於、大阪）11月23日に開催した。

【各部および部会の令和元年度事業報告】

1. 総務部・経理部・事務局

- (1) 一般社団法人として公益支出計画を確実に実施した。
- (2) 事業収入の収益アップ及び経費の節減を継続して実施した。
- (3) 収益事業として駐車場の賃貸事業を積極的に行った。
- (4) 会員の退会防止と育成を推進した。（勉強会など）
- (5) 若手会員の意見集約を行い理事会に意見具申した。（推進委員会）
- (6) 本部淘席を毎月第1土曜日、令和2年からは奇数月の第1土曜日に行った。
- (7) 会長会議題として「分会後継者育成のルール化」を取り上げ、現状把握と後継者育成について貴重な意見を交わすことが出来た。

2. 教化部

1. 勉強会（3月は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となった）

- (1) 各分会持ち回りで毎月第1土曜日に「端伝会」を実施した。
- (2) 「淘祖言行録を読む」会を毎月第1土曜日に実施した。（第28回～第38回）
- (3) 「淘語いろいろ みんなで話そう」を毎月第1土曜日に実施した。
なお、10月から親睦強化の意味合いも含めて昼食会にて本部淘席淘話での話題について話し合う場に変更した。
- (4) 中免向けに観相勉強会を実施した。（関東；8月31日、関西；9月23日）
- (5) 古典資料の整理及びリストアップを実施した。

2. 合同淘話会

- (1) 春季合同淘話会は淘祖生誕記念淘話会として4月20日（土）に開催した。
- (2) 秋季合同淘話会；10月4日（木）彰徳祭法要の午後に開催した。（当番分会；小响会）

3. 行事

- (1) 淘宮発表記念講演会 2020年2月24日（日）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い延期とした。

4. 普及活動

- (1) 淘道セミナー 2か月に1回のペースで開催した。
特に若手メンバーの入会に結び付けることが出来た。

5. その他の活動

- (1) 淘暦、加年見、淘宮手帳等の作成実施。
- (2) 会長会を理事会と合同で実施した。10月27日（土）
- (3) DB小委員会活動を継続し、教化資料（淘書・掛け軸）・淘歌および「淘祖言行録」の電子化・DB化を促進し検索環境を整備した。

編集部・広報部との連携で「洵祖言行録」再版に向けての準備活動を開始した。

2. 事業部

- (1) 10月4日に彰徳祭法要を実施した。
- (2) 令和2年1月11日に新年懇親会を開催した。

3. 編集部

- (1) 『洵道』の発行については隔月（年間6回発行）とし、部員6名で編集作業を行った。
- (2) 会員に評価されるような『洵道』を目指して記事の多様化を図り、カラー写真も掲載した。

4. 広報部

- (1) 広報部の下に設置された、洵道（洵宮）の新しいパンフレットおよびホームページ作成についての小委員会（仮称：NM小委員会）によりパンフレットの作成およびホームページの作成検討を行った。

5. 青年部

- (1) 若手会員の育成・定着を目的に誰でも参加できる青年部端伝会、勉強会および洵席を毎月1回実施した。（令和2年3月は中止）
- (2) 一般社会人との接点を作り洵道を理解してもらうことを目指して「四木クラブ」を毎月開催した。（令和2年2月、3月は中止）

6. 関西地域部会

- ・報告会 年間1回（4月14日）開催
- ・運営委員会 年間3回（4月14日、10月20日、令和2年1月19日）開催
- ・合同洵話会 年間1回（4月14日）併せて西春暁先生、苅田春弘先生を偲ぶ会開催
- ・中免研修会 年間1会（9月23日（月））早房隆静先生による中免会開催
- ・紅葉狩り洵席 年間1回（11月23日（土））開催

（註）中免研修会、紅葉狩り洵席以外の開催日は日曜日。

【その他の事業報告】

『秋の嵐』ガイドライン作成小委員会の進捗状況報告

- ・各委員による解説書等の検討結果をまとめた。
- ・今後の方針を確認し具体案の作成に入った。

